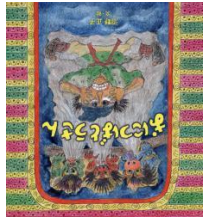


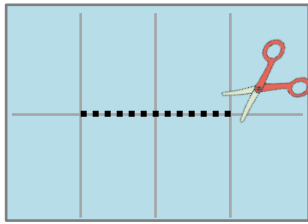
『おにつば』  
とうさん  
沼野正子／文・絵  
福音館書店



『エドワードと  
うま』  
アン・ランド／文  
オーレ・エケセル／絵  
岩波書店



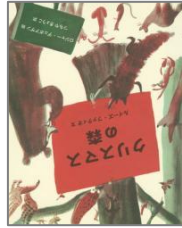
●●あたらしいえほん●●



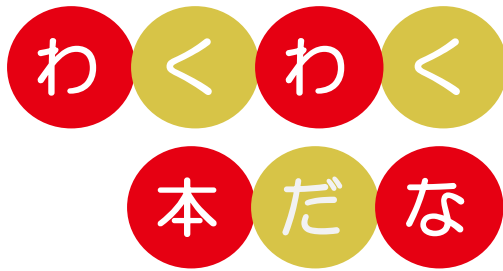
紙を8つにおいて、半分にひろげて  
ね。てん線のところに、ハサミで、  
きりこみをいれて、くみたてれば、  
本のかたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館  
富山市西町5番1号  
電話 076-461-3200  
としょかんのホームページもみてね！

フシゼントをくばるとちゆ  
う、おべんとを食へたサン  
タ・クロース。おなかがいっ  
ぱいになって、ねむってしま  
いました。それを見たキツネ  
は、このままではフシゼント  
がとどかないとあわてます。



えほん『クリスマス森の森』  
ルイズ・プラフライン  
オ／文  
ロジャヤ・チュボフ  
ザン／絵  
つちやきよこ／訳  
福音館書店



12月号



冬になると、植物や動物を  
ほとんと見かけなくなりま  
す。しかし、よく見てみると、  
春をまつ生き物がたくさんい  
るのです。季節ごとにかわる、  
自然のすがたをのぞいてみま  
しょう。

えほん『自然のとびら』  
ケイ・スヴウア／文  
ダニエル・クロー／絵  
さいとうみわ／訳  
アノニア・スタジオ



えほん『くつやのドラテフカ』



ヤニーナ・ポラ  
ジンスカ／文  
ワンダ・オルリ  
ンスカ／絵  
足達和子／訳  
福音館書店

ドラテフカは、こまっている  
ものがあれば、アリヤハチ  
でもたすけてあげました。あ  
るとき、おひめさまをたすけ  
るために、ドラテフカはまほ  
うつかいにいどみます。

コリウが胸をたたくこと  
を、ドラミングといえます。  
ドラミングは、相手をおどす  
行動だと言われています。  
けれども、コリウをかんさつ  
してみると、そうではないこ  
とがわかってくるのです。

K489 『コリウが胸  
をたたくわけ』  
山極樹一／文  
阿部知暁／絵  
福音館書店



K913 『ひみつのきも  
ちぎんこう』  
ふじもとみさと／作  
田中六大／絵  
金の星社



ゆうたがわるいことをす  
ると、どこからか「ジャリー  
ン」という音がきこえてきま  
した。ふしぎに思っている  
と、「きもちぎんこう」から  
手紙がとどきます。

日本人がいつからお米を作っていたか知っていますか？なんと二千数百年ものむかしから、作りつづけているのです。台風や地震などの自然災害に負けずに続いてきた、稲と日本人の歴史を見ていきましょう。

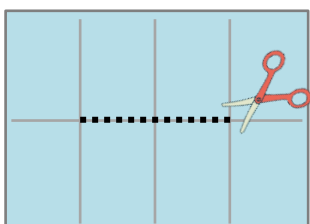
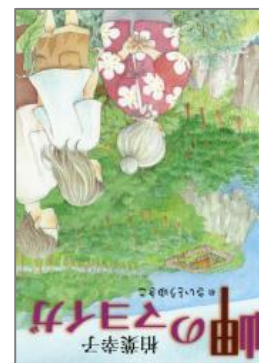
K916 『稲と日本人』  
甲斐伸枝／さく 佐藤洋一郎／監修  
福音館書店



両親を事故でなくした萌花は、親せきの家に向かう途中で震災にあい、体育館へ避難します。萌花はそこで出会ったゆりえさんと、小さなおばあさんの3人でくらすことになりました。ある日、おばあさんを訪ねて、カッパがやってきました。いったい、おばあさんはなにものなのでしょう？

柏葉幸子／著  
さいとうゆきこ／絵 講談社

K913 『岬のソイガ』



紙を8つにおって、半分にひろげてね。てん線のところに、ハサミで、きりこみをいれて、くみたてれば、本のかたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館  
富山市西町5番1号  
電話 076-461-3200  
としょかんのホームページもみてね！



K913  
『ちやいろいつつみ紙のはなし』  
アリソン・アトリー／作 殿内真帆／絵  
松野正子／訳 福音館書店

クリスマスが近づいた日、ちやいろいつつみ紙が、新聞屋さんから売られていきました。ちやいろい紙は、おばあさんとどけるクリスマスプレゼントをつつんで、ぼうけんの旅にでかけます。プレゼントをとどけ、大事にしまわれた紙は、イースターのころにふたたび取り出されました。